

# ポートフォリオ的活用 博物館

日光の魅力を伝えよう

所属名 : 東京都 渋谷区立代々木山谷小学校

実践学年組: 6年 1組・2組

氏名: 細川卓郎

## 実践記録の概要 (単元略案)

	主な学習活動と内容	○指導上の留意点●評価	コラボノートの活用
課題設定 2時間	<p>1. 日光報告会を開くことを知り、学習課題を決める。</p> <p>(1) オリエンテーションで概要をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生に、「日光の魅力」を発信する。</li> <li>・紹介する時には、「観光ガイドマップ」を使う。</li> <li>・観光ガイドマップは、Scrath3.0で作成する。</li> </ul> <p>(2) 学習計画を立てる。</p>	<p>○授業者の作った作例を見せながら、ガイドマップを使った伝え方の利点に気付かせる。</p> <p>○5年生と日程を調整しておく。</p>	
情報収集 4時間	<p>2. 日光高原学園を終えて感じた「日光の魅力」を振り返り、場所ごとにグループ分けをする。</p> <p>【グループ (訪れた場所)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日光東照宮</li> <li>・ホテル</li> <li>・湯の湖周辺</li> <li>・中禅寺湖</li> <li>・戦場ヶ原</li> </ul>	<p>○魅力を考える際には、自分達の住む街・代々木とも比較させる。</p> <p>◇体験活動を通して栃木県日光市の自然・歴史・産業・伝統等の素晴らしさに気付いている。</p> <p>(知識・技能)</p>	<p>■コラボノートの寄せ書きテンプレートを基に「日光の魅力とは？」のページを作成し、付箋の色によるグループ分けを進める。</p> <p>■前時のコラボノートに貼った色別の付箋に、考えた魅力を書かせる。</p>

<p>情報収集 3時間</p>	<p>3.Scrath3.0を使ったプログラミングの方法を知り、観光ガイドマップを作成する。</p> <p>①地図の画像を手に入れ、基本的な動作を確認する。</p> <p>②対象物に触れると背景を切り替えるプログラミングを組み立てる。</p> <p>③切り替える背景の写真や、魅力を伝えるために必要な情報を集める。</p>	<p>○ガイドマップを相互評価、他者評価してもらうことにより、情報を創造し、発信・伝達するよさをとらえさせる。</p> <p>◇設定した課題を解決するために見通しをもって情報収集したり、整理・分析したりし、自分にもできることがあることを理解している。(知識・技能)</p> <p>◇目的をもって、日光の魅力をより深く知るための課題を設定し、他者と協働して解決しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>■寄せ書きページの中央に地図の画像をファイル形式で貼り付け、ダウンロードさせる。</p> <p>■新しいページに基本となるガイドマップのファイルと進捗状況状況を表す表、名前入りのふせんを貼り付けておく。ふせんを移動させて最終的な進捗状況を表すことで、早く課題を終えた児童に協力するように声掛けをする。</p>
<p>整理分析 3時間 (本時)</p>	<p>④基本的なガイドマップを作成する。</p> <p>④魅力を伝えやすくするために工夫できる個所を考え、自分なりの観光ガイドマップを作る。</p> <p>⑤グループ同士で動作を確認し合い、より魅力が伝わりやすいものへと助言・改善する。</p>	<p>○ペア学習を通して、有用なプログラムのアイデアなどを共有させる。</p> <p>◇5年生に魅力を伝えやすいデジタル観光マップを作成するために、すすんで助言し合っている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>■新しい寄せ書きページに、自分の作成したガイドマップのファイルを貼り付けてバックアップ用のページとする。グループ同士で動作を確認し合った後は、ファイルにコメントで助言を書き合うよう声をかける。</p>
<p>まとめ・表現 2時間</p>	<p>4. 観光ガイドマップを使って、日光の魅力を発信する。</p> <p>(1) できあがった観光ガイドマップを使い、5年生に日光の魅力を紹介する。</p> <p>【会場：体育館】</p> <p>(2) 5年生から感想や意見をもらう。</p> <p>(3) 学習のふり返しをする</p>	<p>○ポスターセッションのように会場を目的別のグループに分け、5年生が自由に移動できるようにする。</p> <p>◇学習を通して考えたことや思いをもとに、自分達の住む街を見直そうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>■寄せ書きシートに振り返りを書かせる。シートには5年1組から6年2組までの4クラス分を載せて、お互いに読み合うことができるようにする。</p>